

リスク（副作用）について、どの程度考慮しますか	市販されている医薬品（第一類医薬品）	かなり考慮する	119 (13.3%)
		考慮する	458 (51.2%)
		少し考慮する	267 (29.9%)
		ほとんど考慮しない	43 (4.8%)
	ぜんぜん考慮しない	7 (0.8%)	
	市販されている医薬品（第二類医薬品）	かなり考慮する	51 (5.7%)
考慮する		337 (37.7%)	
少し考慮する		372 (41.6%)	
ほとんど考慮しない		121 (13.5%)	
ぜんぜん考慮しない	14 (1.6%)		
市販されている医薬品（第三類医薬品）	かなり考慮する	37 (4.2%)	
	考慮する	264 (29.6%)	
	少し考慮する	364 (40.8%)	
	ほとんど考慮しない	205 (23.0%)	
ぜんぜん考慮しない	22 (2.5%)		
ハイリスク薬	かなり考慮する	589 (65.2%)	
	考慮する	274 (30.3%)	
	少し考慮する	33 (3.7%)	
	ほとんど考慮しない	5 (0.6%)	
ぜんぜん考慮しない	2 (0.2%)		
処方された薬剤	かなり考慮する	430 (47.6%)	
	考慮する	417 (46.2%)	
	少し考慮する	50 (5.5%)	
	ほとんど考慮しない	4 (0.4%)	
ぜんぜん考慮しない	2 (0.2%)		
医療機器（吸入器、注射器など）	かなり考慮する	278 (31.0%)	
	考慮する	384 (42.8%)	
	少し考慮する	165 (18.4%)	
	ほとんど考慮しない	63 (7.0%)	
ぜんぜん考慮しない	7 (0.8%)		

リスクについて、どの程度説明しますか	市販されている医薬品（第一類医薬品）	かなり説明する	117 (14.0%)
		少し説明する	380 (45.4%)
		わずかに説明する	214 (25.6%)
		ほとんど説明しない	104 (12.4%)
	ぜんぜん説明しない	22 (2.6%)	
	市販されている医薬品（第二類医薬品）	かなり説明する	31 (3.7%)
少し説明する		308 (36.4%)	
わずかに説明する		284 (33.5%)	
ほとんど説明しない		190 (22.4%)	
ぜんぜん説明しない	34 (4.0%)		
市販されている医薬品（第三類医薬品）	かなり説明する	15 (1.8%)	
	少し説明する	255 (29.9%)	
	わずかに説明する	283 (33.2%)	
	ほとんど説明しない	254 (29.8%)	
ぜんぜん説明しない	46 (5.4%)		
ハイリスク薬	かなり説明する	569 (63.0%)	
	少し説明する	312 (34.6%)	
	わずかに説明する	19 (2.1%)	
	ほとんど説明しない	2 (0.2%)	
ぜんぜん説明しない	1 (0.1%)		
処方された薬剤	かなり説明する	380 (42.0%)	
	少し説明する	476 (52.6%)	
	わずかに説明する	45 (5.0%)	
	ほとんど説明しない	3 (0.3%)	
ぜんぜん説明しない	1 (0.1%)		
医療機器（吸入器、注射器など）	かなり説明する	282 (31.9%)	
	少し説明する	416 (47.1%)	
	わずかに説明する	116 (13.1%)	
	ほとんど説明しない	51 (5.8%)	
ぜんぜん説明しない	19 (2.2%)		

Ⅱ-1-(3) 処方された薬剤についてお伺いします。処方鑑査時、あるいは調剤時に注意している薬剤がありますか。

ある	889 (97.6%)
ない	7 (0.8%)
わからない	15 (1.7%)

Ⅱ-1-(4) なぜ、その薬剤は処方鑑査時、あるいは調剤時に注意されているのですか。(複数可)

副作用(健康被害)	849 (94.1%)
不十分なベネフィット(有効性が不明瞭)	88 (9.8%)
指導の理解	441 (48.9%)
価格	28 (3.1%)
警告	268 (29.7%)
日常生活への影響	492 (54.5%)
患者の意志や行動	166 (18.4%)
その他	51 (5.7%)

Ⅱ-1-(5) 医療機器(吸入器、注射器など)についてお伺いします。懸念している医療機器がありますか。

ある	466 (51.2%)
ない	217 (23.9%)
わからない	227 (25.0%)

Ⅱ-1-(6) なぜ、その医療機器について懸念されるのですか。(複数可)

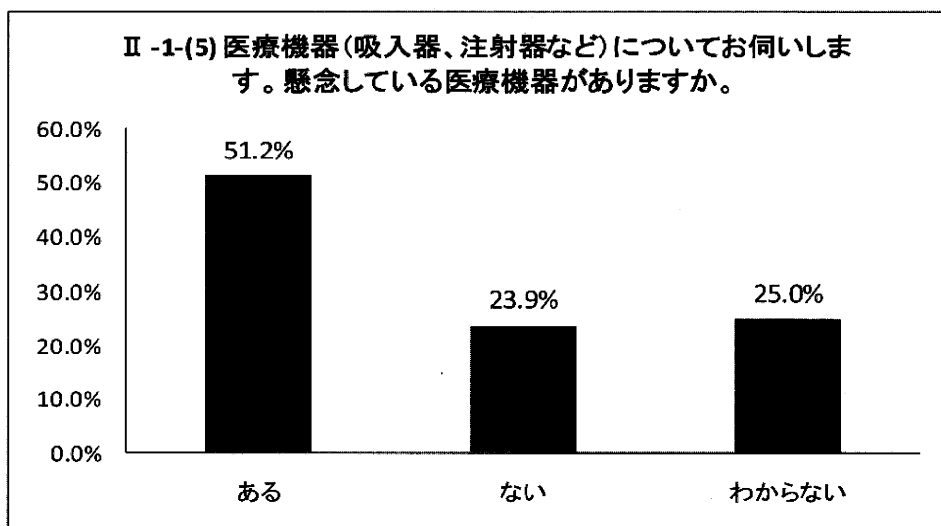
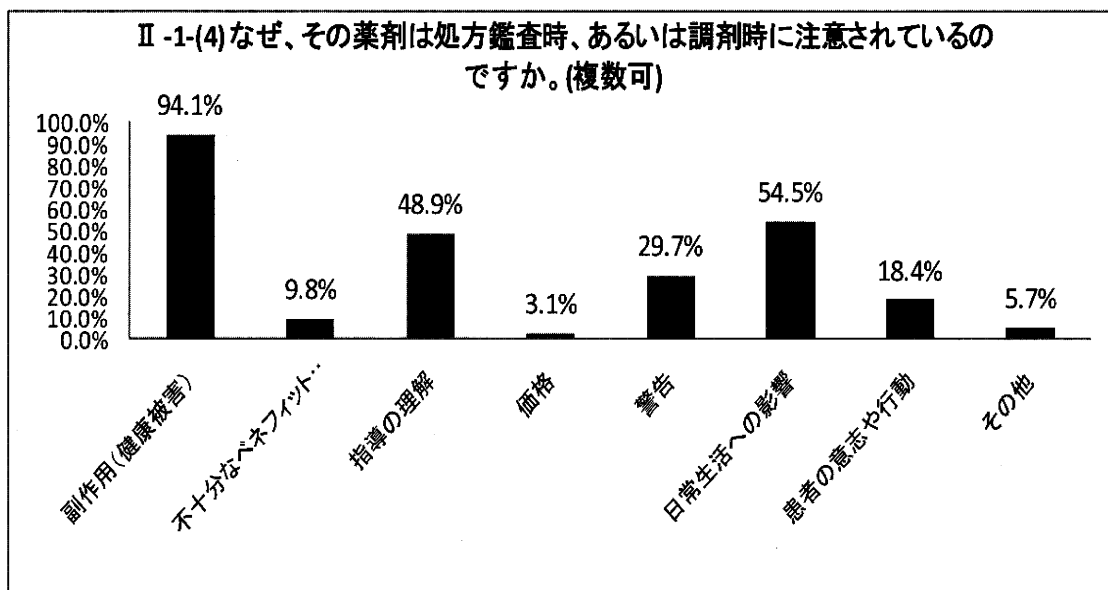
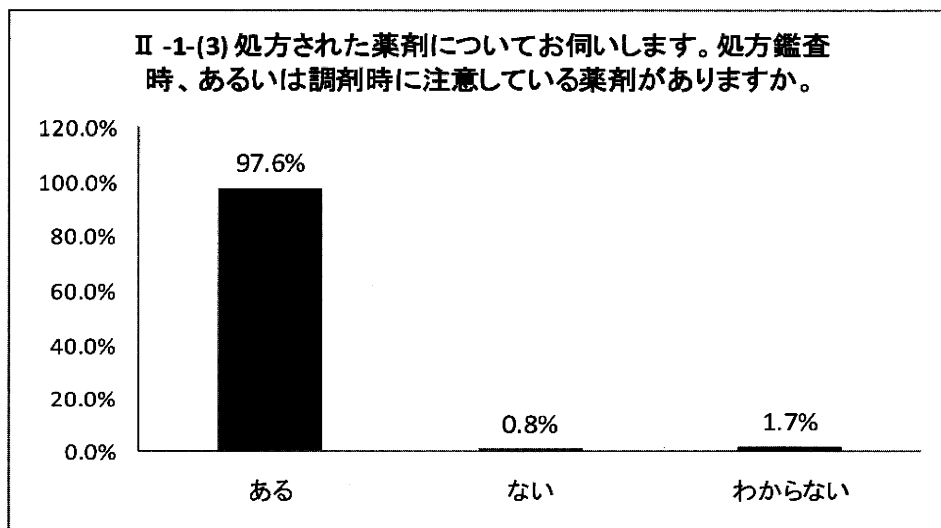
副作用(健康被害)	284 (56.5%)
不十分なベネフィット(有効性が不明瞭)	52 (10.3%)
指導の理解	360 (71.6%)
価格	17 (3.4%)
警告	50 (9.9%)
日常生活への影響	171 (34.0%)
患者の意志や行動	134 (26.6%)
その他	14 (2.8%)

Ⅱ-1-(7) 医薬品や医療機器のリスク情報を十分に収集できていますか。

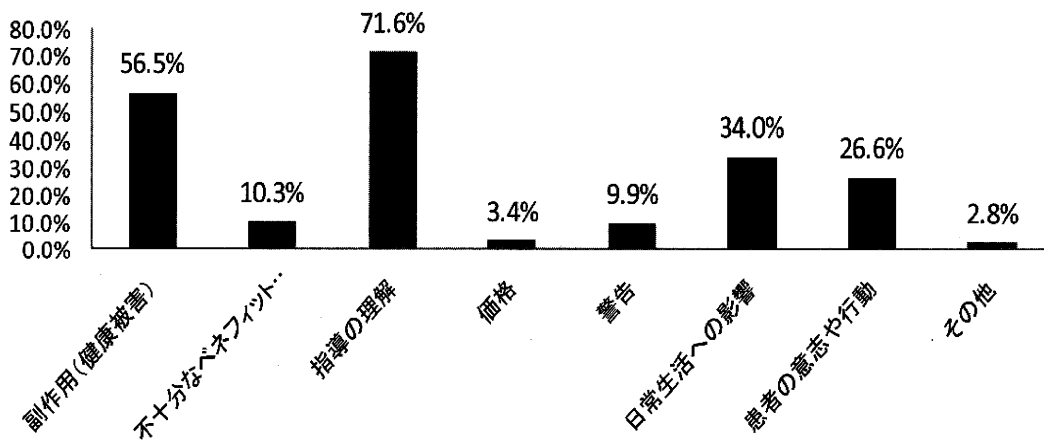
はい	195 (21.5%)
いいえ	306 (33.7%)
わからない	408 (44.9%)

Ⅱ-1-(8) なぜ、医薬品や医療機器のリスク情報を十分に収集できていないのですか。(複数可)

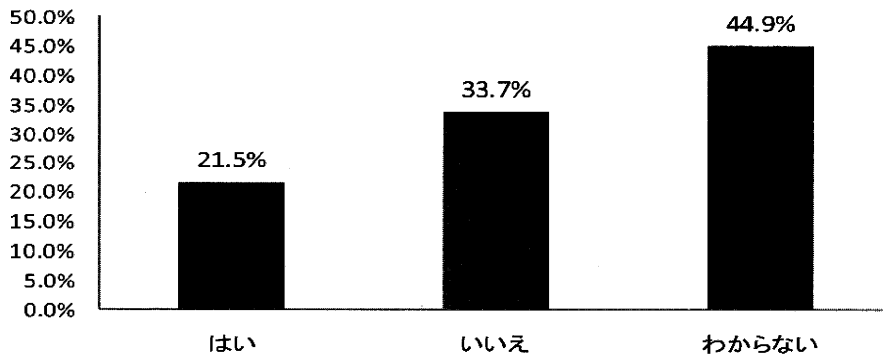
情報提供手段が悪い	65 (20.4%)
不十分な情報が多い(信頼できる情報源が少ない)	78 (24.5%)
インフラの整備不足(インターネット使用環境など含む)	27 (8.5%)
情報収集時間がない	202 (63.3%)
十分な情報の収集手段が分からない	144 (45.1%)
情報収集に対する予算不足(会社等からの予算提供がない)	10 (3.1%)
リスク対策に対する対価が少ない(対価がない)	7 (2.2%)
その他	23 (7.2%)



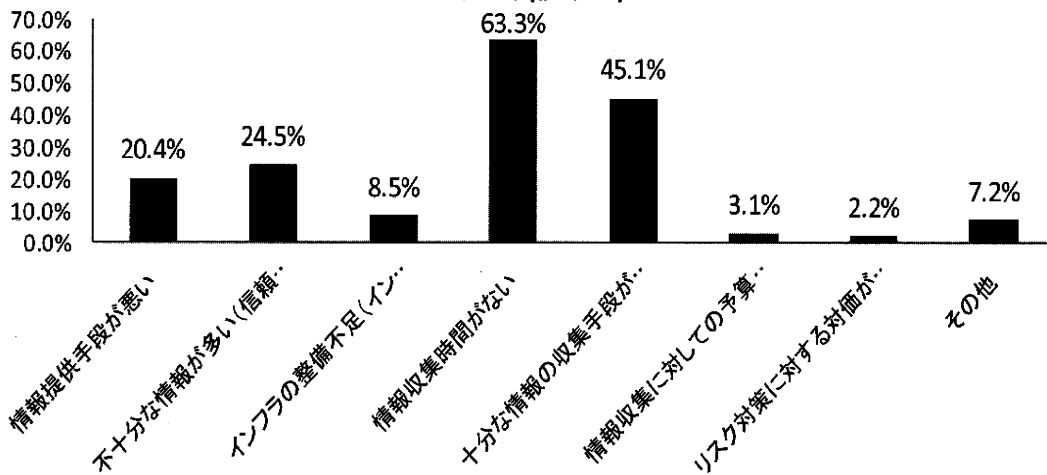
II -1-(6)なぜ、その医療機器について懸念されるのですか。(複数可)



II -1-(7)医薬品や医療機器のリスク情報を十分に収集できていますか。



II -1-(8)なぜ、医薬品や医療機器のリスク情報を十分に収集できていないのですか。(複数可)



Ⅲ-1 医薬品の情報が欲しい場合、情報源としてよく利用する、もしくは利用したいと思うものについてお伺いします。その情報源として希望される職種、項目について次の中からお選びください
(複数回答可)

医師	239 (26.4%)
薬剤師(同僚の薬剤師含む)	568 (62.6%)
看護師・保健師(臨床検査技師等、他の医療職含む)	51 (5.6%)
製薬会社の問い合わせ窓口(MRを含む)	806 (88.9%)
患者用の添付文書	362 (39.9%)
書籍、雑誌、リーフレット	413 (45.5%)
メディア(専門家向け含む)	128 (14.1%)
インターネット	661 (72.9%)
公的機関の情報(メーリングリスト含む)	135 (14.9%)
医薬品問題に関するアラート(メーリングリスト含む)	47 (5.2%)
文献	149 (16.4%)
その他	4 (0.4%)

Ⅲ-2 リスク・ベネフィット情報の信頼性において信頼できる情報源はどのような職種、項目ですか。(複数回答可)

医師	242 (26.5%)
薬剤師(同僚の薬剤師含む)	343 (37.6%)
看護師・保健師(臨床検査技師等、他の医療職含む)	32 (3.5%)
製薬会社の問い合わせ窓口(MRを含む)	814 (89.3%)
患者用の添付文書	247 (27.1%)
書籍、雑誌、リーフレット	341 (37.4%)
メディア(専門家向け含む)	76 (8.3%)
インターネット	233 (25.5%)
公的機関の情報(メーリングリスト含む)	224 (24.6%)
医薬品問題に関するアラート(メーリングリスト含む)	42 (4.6%)
文献	159 (17.4%)
その他	3 (0.3%)

Ⅲ-3 上記でお答えいただいた情報源より処方された薬剤やハイリスク薬などについて ベネフィット(主作用や二次作用)に関する情報の交換(提供)を今よりさらに受けたいと思いますか。

はい	760 (83.9%)
いいえ	12 (1.3%)
わからない	134 (14.8%)

Ⅲ-4 上記でお答えいただいた情報源より処方された薬剤やハイリスク薬などについて リスク(副作用)に関する情報の交換(提供)を今よりさらに受けたいと思いますか。

はい	789 (87.1%)
いいえ	17 (1.9%)
わからない	100 (11.0%)

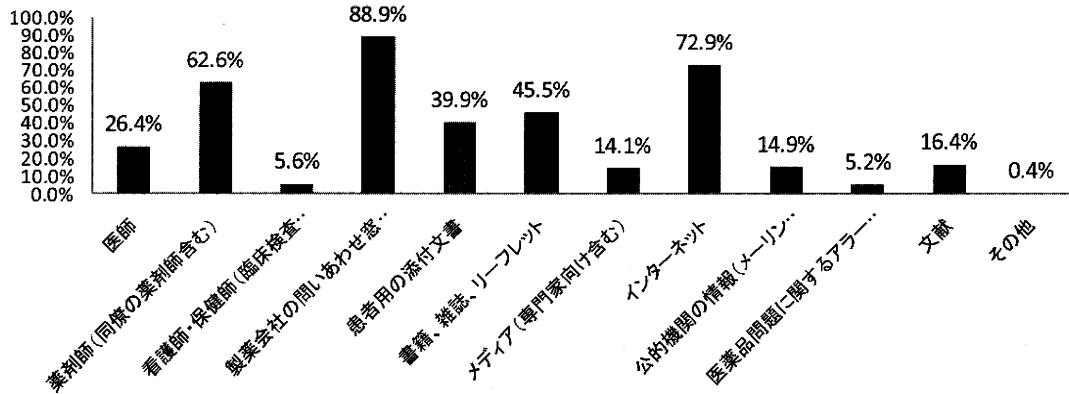
Ⅲ-5 副作用を有する薬剤について、医療関係者(医師や薬剤師など)と情報の交換をしていますか。

はい	601 (66.6%)
いいえ	124 (13.8%)
わからない	177 (19.6%)

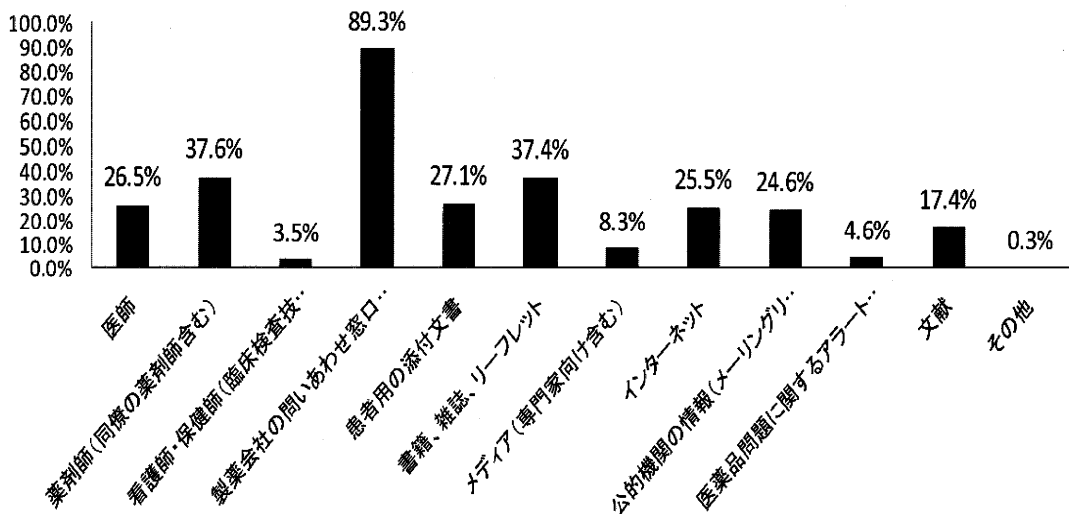
Ⅲ-6 それは、主に何についての情報の交換ですか。

ベネフィット(主作用や二次作用)情報	290 (47.4%)
リスク(副作用)情報	456 (74.5%)
その他	12 (2.0%)

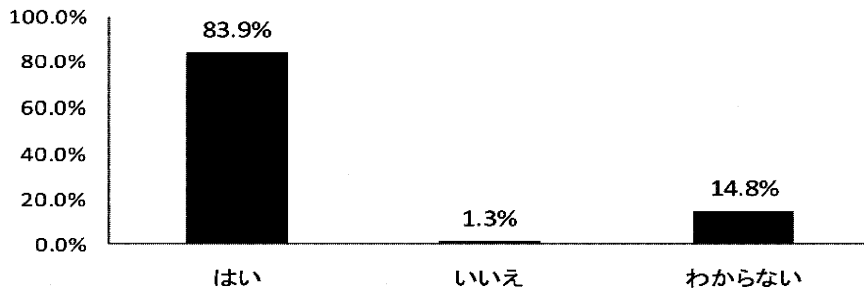
Ⅲ-1 医薬品の情報が欲しい場合、情報源としてよく利用する、もしくは利用したいと思うものについてお伺いします。その情報源として希望される職種、項目について次の中からお選びください(複数回答可)



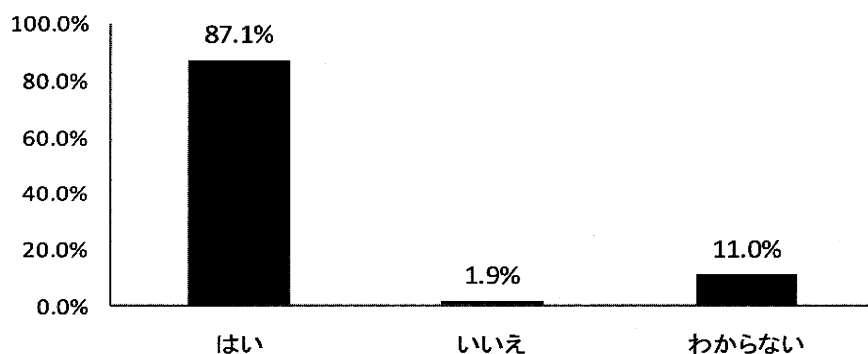
Ⅲ-2 リスク・ベネフィット情報の信頼性において信頼できる情報源はどのような職種、項目ですか。(複数回答可)



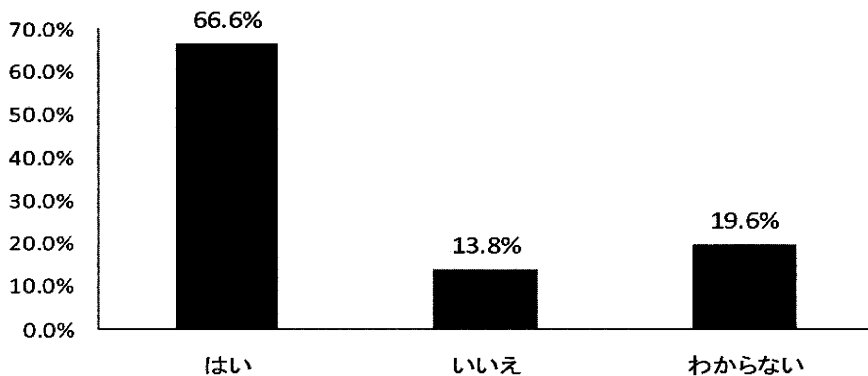
Ⅲ-3 上記でお答えいただいた情報源より処方された薬剤やハイリスク薬などについてベネフィット(主作用や二次作用)に関する情報の交換(提供)を今よりさらに受けたいと思いますか。



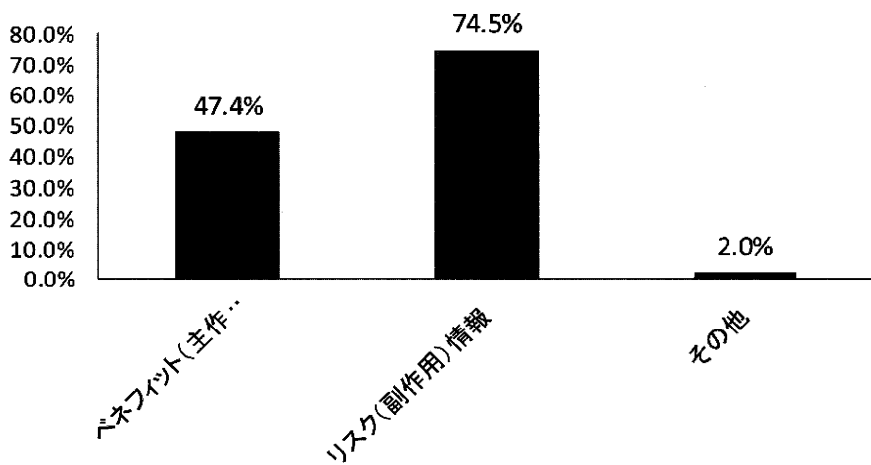
Ⅲ-4 上記でお答えいただいた情報源より処方された薬剤やハイリスク薬などについてリスク(副作用)に関する情報の交換(提供)を今よりさらに受けたいと思いますか。



Ⅲ-5 副作用を有する薬剤について、医療関係者(医師や薬剤師など)と情報の交換をしていますか。



Ⅲ-6 それは、主に何についての情報の交換ですか。



IV-1-(1) 医師が処方した薬剤について、その医師に疑義照会をすること(質問すること)がありますか。	はい	898 (98.3%)
	いいえ	16 (1.8%)
IV-1-(2) 医師に対し、薬剤に関して依頼すること(依頼したこと)がありますか。	はい	624 (69.6%)
	いいえ	273 (30.4%)
IV-1-(3) 医師が処方した薬剤について、その医師と十分な情報の交換、コミュニケーションをしていますか。	はい	183 (20.3%)
	いいえ	717 (79.7%)
IV-1-(4) 処方された薬剤の服薬指導を行う際に、リスク・ベネフィットの情報等、十分な情報の提供をしていますか。	はい	603 (67.6%)
	いいえ	289 (32.4%)
IV-1-(5) 処方された薬剤について、服薬指導を行う際に副作用の情報提供は十分だと感じますか。	十分である	157 (17.4%)
	不十分である	398 (44.0%)
	わからない	349 (38.6%)
IV-1-(6) 医師が処方した薬剤で、ハイリスク(副作用が大きい)薬剤の投薬について、どの程度、気にしますか。	かなり気にしている	430 (47.1%)
	少しは気にしている	469 (51.3%)
	気にしていない	12 (1.3%)
	その他	3 (0.3%)
IV-1-(7) 患者に対して、リスク(副作用)の情報提供や会話(コミュニケーション)は十分できていると感じますか。	十分である	105 (11.7%)
	不十分である	434 (48.4%)
	わからない	326 (36.4%)
	その他	31 (3.5%)
IV-1-(9) また患者に対して、リスク(副作用)の情報提供や会話(コミュニケーション)を継続してできていると感じますか。	十分である	137 (15.3%)
	不十分である	407 (45.4%)
	わからない	330 (36.8%)
	その他	23 (2.6%)

性別	
男性	300 (32.5%)
女性	610 (66.0%)
不明	14 (1.5%)

年齢	
20歳代	487 (53.6%)
30歳代	261 (28.7%)
40歳代	95 (10.5%)
50歳代	55 (6.1%)
60歳代	11 (1.2%)

勤務地	
愛知県	32 (3.8%)
愛媛県	9 (1.1%)
茨城県	73 (8.7%)
岩手県	17 (2.0%)
岐阜県	3 (0.4%)
宮崎県	4 (0.5%)
宮城県	17 (2.0%)
京都府	62 (7.4%)
広島県	12 (1.4%)
埼玉県	138 (16.4%)
山形県	23 (2.7%)
滋賀県	3 (0.4%)
秋田県	3 (0.4%)
新潟県	106 (12.6%)
神奈川県	21 (2.5%)
青森県	4 (0.5%)
静岡県	12 (1.4%)
石川県	18 (2.1%)
千葉県	33 (3.9%)
大阪府	20 (2.4%)
長野県	27 (3.2%)
東京都	36 (4.3%)
栃木県	7 (0.8%)
富山県	15 (1.8%)
福井県	2 (0.2%)
福岡県	2 (0.2%)
福島県	16 (1.9%)
兵庫県	12 (1.4%)
北海道	115 (13.7%)

勤続年数	
1年未満	39 (4.4%)
1～2年未満	79 (8.9%)
2～3年未満	154 (17.3%)
3～4年未満	110 (12.3%)
4～5年未満	75 (8.4%)
5～6年未満	79 (8.9%)
6～7年未満	51 (5.7%)
7～8年未満	47 (5.3%)
8～9年未満	53 (5.9%)
9～10年未満	42 (4.7%)
10～11年未満	53 (5.9%)
11～12年未満	19 (2.1%)
12～13年未満	14 (1.6%)
13～14年未満	10 (1.1%)
14～15年未満	13 (1.5%)
15～16年未満	13 (1.5%)
16～17年未満	8 (0.9%)
17～18年未満	6 (0.7%)
18～19年未満	2 (0.2%)
19～20年未満	2 (0.2%)
20～21年未満	5 (0.6%)
21～22年未満	1 (0.1%)
22～23年未満	2 (0.2%)
23～24年未満	2 (0.2%)
24～25年未満	1 (0.1%)
25～26年未満	3 (0.3%)
26～27年未満	0 (0.0%)
27～28年未満	1 (0.1%)
28～29年未満	1 (0.1%)
29～30年未満	2 (0.2%)
30～31年未満	1 (0.1%)
31～32年未満	1 (0.1%)
32～33年未満	1 (0.1%)
33～34年未満	0 (0.0%)
34～35年未満	1 (0.1%)

<参考資料(アンケート)>

医薬品情報に関するアンケート調査

近年、血液製剤による薬害 C 型肝炎問題をはじめ、医薬品の安全性を問われる事件が相次いでおります。厚生労働省や関係諸機関はこのような事態にどのように対応し、国民の安心を促すか、医薬品の情報提供のあり方を検討するため、厚生労働科学研究費補助金「国民および医療関係者との副作用情報にかかるリスクコミュニケーション方策に関する調査研究」において、調剤薬局薬剤師の医薬品情報の利用状況を調べるアンケート調査を実施することになりました。本調査の趣旨をご理解いただき、何卒、ご協力くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。なお、調査は匿名で行い、結果は個人を特定できない集団集計値としてのみ公表いたします。

☆ このアンケートは〇〇〇〇薬局店舗薬剤師様にお答えいただいております。

このアンケートにお答えになる前に、以下の文章をよくお読みになり、ご理解頂きましてから、お始め下さい。

- アンケートの内容は、医薬品情報の利用状況を調べるアンケート調査のほか、あなたの健康についてもお聞きしています。
- 質問の中には同じような内容のものがくり返し出てくることがあります。どれもが大切な情報となります。面倒がらずにお答え頂ければ、その回答結果は貴重な資料となりますので、出来る限りお答えください。
- お答えになりたくない、もしくは該当する回答が見つからない場合には、質問を飛ばしていただいてもかまいませんが、可能な限り近い回答をして頂ければ幸いです。
- 回答は、複数回答可能な場合を除き、1問につき必ず1つのみ〇をお付けください。

アンケート調査票につきましては、回答終了後、同封されております封筒にてご送付いただけますよう、ごお願い申し上げます。

本調査に関するお問合せは

厚生労働科学研究費補助金「国民および医療関係者との副作用情報にかかるリスクコミュニケーション方策に関する調査研究」

研究代表者 杉森 裕樹

大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学研究科 健康情報科学領域 予防医学
〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿 560 9号館 307

TEL 0493-31-1558 (代表) E-mail : hsugimor@ic.daito.ac.jp

I. 厚生労働省や独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）などから提供されている医薬品等の安全性情報

1. 厚生労働省や PMDA などから提供されている医薬品等の安全性情報についてお尋ねします。

(1) PMDA より提供されている医薬品医療機器情報提供ホームページはご存じですか。

1. 知っている 2. 知らない

(2) 医薬品医療機器情報提供ホームページの情報とサービスである下記の項目を、それぞれ利用されているか、該当するものに丸をつけてください。

医薬品・医療機器等安全性情報	1. 利用している	2. 知っているが、 利用していない	3. 知らない
使用上の注意の改訂指示通知	1. 利用している	2. 知っているが、 利用していない	3. 知らない
DSU（医薬品安全対策情報－使用上の注意改訂のご案内）	1. 利用している	2. 知っているが、 利用していない	3. 知らない
医薬品医療機器情報配信サービス*	1. 利用している	2. 知っているが、 利用していない	3. 知らない
患者向医薬品ガイド・くすりのしおり	1. 利用している	2. 知っているが、 利用していない	3. 知らない
インタビューフォーム**	1. 利用している	2. 知っているが、 利用していない	3. 知らない

*)医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された時に、タイムリーにその情報をメールによって配信するサービスです。医薬品医療機器情報提供ホームページより登録できます。

**)平成 21 年 5 月 13 日に作成された新規コンテンツとして、医療用医薬品添付文書情報画面に「インタビューフォーム」の掲載がされています。

(3) 上記(2)のうち、医薬品・医療機器等安全性情報、使用上の注意の改訂指示通知、DSU（医薬品安全対策情報－使用上の注意改訂のご案内）、患者向医薬品ガイド・くすりのしおり、医療用医薬品添付文書情報のインタビューフォーム、について、「1. 利用している」と回答された方にお聞きします。

これらの資料で利用しているものにつき、以下から該当するものに丸をつけてください。

i) 医薬品・医療機器等安全性情報

1) 情報の示し方について	わかりづ らい（不 適切）		どちらで もない （普通）		わかりや すい（適 切）
読みやすいか	1	2	3	4	5
知りたい事柄を見つけやすいか	1	2	3	4	5
資料の構成	1	2	3	4	5
字の大きさ	1	2	3	4	5
情報の量	1	2	3	4	5

2) 情報の内容について	そう思 わない	あまりそ う思わな い	どちらで もない	そう思 う	非常にそ う思 う
実践的であるか	1	2	3	4	5
理解しやすいか	1	2	3	4	5
タイムリーか	1	2	3	4	5
役に立つか	1	2	3	4	5
背景情報の量は適切か	1	2	3	4	5

ii) 使用上の注意の改訂指示通知

1) 情報の示し方について	わかりづ らい (不 適切)		どちらで もない (普通)		わかりや すい (適 切)
読みやすいか	1	2	3	4	5
知りたい事柄を見つけやすいか	1	2	3	4	5
資料の構成	1	2	3	4	5
字の大きさ	1	2	3	4	5
情報の量	1	2	3	4	5

2) 情報の内容について	そう思 わない	あまりそ う思わな い	どちらで もない	そう思 う	非常にそ う思 う
実践的であるか	1	2	3	4	5
理解しやすいか	1	2	3	4	5
タイムリーか	1	2	3	4	5
役に立つか	1	2	3	4	5
背景情報の量は適切か	1	2	3	4	5

iii) DSU (医薬品安全対策情報-使用上の注意改訂のご案内)

1) 情報の示し方について	わかりづ らい (不 適切)		どちらで もない (普通)		わかりや すい (適 切)
読みやすいか	1	2	3	4	5
知りたい事柄を見つけやすいか	1	2	3	4	5
資料の構成	1	2	3	4	5
字の大きさ	1	2	3	4	5
情報の量	1	2	3	4	5

2) 情報の内容について	そう思 わない	あまりそ う思わな い	どちらで もない	そう思 う	非常にそ う思 う
実践的であるか	1	2	3	4	5
理解しやすいか	1	2	3	4	5
タイムリーか	1	2	3	4	5
役に立つか	1	2	3	4	5
背景情報の量は適切か	1	2	3	4	5

iv) 患者向医薬品ガイド・くすりのしおり

1) 情報の示し方について	わかりづ らい (不 適切)		どちらで もない (普通)		わかりや すい (適 切)
読みやすいか	1	2	3	4	5
知りたい事柄を見つけやすいか	1	2	3	4	5
資料の構成	1	2	3	4	5
字の大きさ	1	2	3	4	5
情報の量	1	2	3	4	5

2) 情報の内容について	そう思わ ない	あまりそ う思わな い	どちらで もない	そう思う	非常にそ う思う
実践的であるか	1	2	3	4	5
理解しやすいか	1	2	3	4	5
タイムリーか	1	2	3	4	5
役に立つか	1	2	3	4	5
背景情報の量は適切か	1	2	3	4	5

v) 医療用医薬品添付文書インタビューフォーム

1) 情報の示し方について	わかりづ らい (不 適切)		どちらで もない (普通)		わかりや すい (適 切)
読みやすいか	1	2	3	4	5
知りたい事柄を見つけやすいか	1	2	3	4	5
資料の構成	1	2	3	4	5
字の大きさ	1	2	3	4	5
情報の量	1	2	3	4	5

2) 情報の内容について	そう思わ ない	あまりそ う思わな い	どちらで もない	そう思う	非常にそ う思う
実践的であるか	1	2	3	4	5
理解しやすいか	1	2	3	4	5
タイムリーか	1	2	3	4	5
役に立つか	1	2	3	4	5
背景情報の量は適切か	1	2	3	4	5

- (4) 同ホームページでは医療関係者向けの情報として「医療用医薬品、医療機器、一般用医薬品、体外診断用医薬品、の各種添付文書情報」、患者向けの情報として「患者向医薬品ガイド・くすりのしおり」の項目がありますが、項目を使い分けて利用していますか。
1. はい 2. いいえ 3. 知らない

「1. はい」と答えた方は、以下の(5)の質問にお答えください。

(5) どのように使い分けて利用していますか。自由にご記入ください。

(6) また同ホームページの医薬品・医療機器等安全性情報、使用上の注意の改訂指示通知、DSU（医薬品安全対策情報－使用上の注意改訂のご案内）の3種類の情報の違いはご存じですか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらでもない

「1. はい」と答えた方は、以下の(7)～の質問にお答えください。

(7) この3種類の情報について、消費者・患者向けのわかりやすい医薬品等の安全性情報の提供を要望しますか。

1. はい
2. いいえ（理由： _____ ）

(8) この3種類の情報について何か要望がありますか。

1. ある
2. ない

「1. ある」と答えた方は、以下(9)～の質問にお答えください。

(9) 要望があるとお答頂いた先生にお伺いします。要望のある情報は3種類の情報のうち、どの情報ですか。

（複数回答可）

1. 医薬品・医療機器等安全性情報
2. 使用上の注意の改訂指示通知
3. DSU（医薬品安全対策情報－使用上の注意改訂のご案内）

(10) 要望、ご意見等についてあなたのお考えをお伺いします。自由にご記入ください。

2. 厚生労働省やPMDAなどから出されている医薬品等の安全性情報をどのような方法・手段で入手していますか。方法・手段を教えてください。

（複数回答可）

1. 官報、告示・通達など（インターネットの厚生労働省ホームページ情報を含む）
2. 書籍、雑誌（購入したもの）
3. 書籍、雑誌、リーフレット（MRやMSなど企業から入手したもの）
4. 製薬企業のMRや卸MSからの情報
5. メディア（TV等）
6. インターネット（企業HPなど）
7. 機構のメーリングリスト（施設ごとに登録）
8. メーリングリスト（会社や薬剤師会など）
9. その他（ _____ ）

3. これらの情報以外で安全性に関わる情報について何か要望がありますか。
1. ある ()
 2. ない
 3. 分からない
4. 病院や診療所で処方された薬について詳しい情報が欲しい場合、情報源としてよく利用する、もしくは利用したいと思うのは次の項目のうちどの項目でしょうか。
(複数回答可)
1. 医師
 2. 薬剤師 (同僚の薬剤師等含む)
 3. 製薬会社の問い合わせ窓口
 4. 書籍、雑誌 (購入したもの)
 5. 書籍、雑誌、リーフレット (MR や MS など企業から入手したもの)
 6. 製薬企業の MR や卸 MS からの情報
 7. メディア (TV 等)
 8. インターネット (企業 HP、FDA などの海外規制機関、文献検索など含む)
 9. メーリングリスト(会社や薬剤師会など)
 10. その他 ()

II. 医薬品等のリスク・ベネフィット

1. 医薬品等のリスク・ベネフィットについて

(1) 下記の項目のリスク (副作用) について、どの程度考慮しますか。それぞれ該当するものに丸をつけてください。

医薬品・医療機器のリスクについての考慮	かなり考慮する	考慮する	少し考慮する	ほとんど考慮しない	ぜんぜん考慮しない
市販されている医薬品 (第一類医薬品)	1	2	3	4	5
市販されている医薬品 (第二類医薬品)	1	2	3	4	5
市販されている医薬品 (第三類医薬品)	1	2	3	4	5
ハイリスク薬*	1	2	3	4	5
処方された薬剤	1	2	3	4	5
医療機器 (吸入器、注射器など)	1	2	3	4	5

*)ハイリスク薬とは、薬局におけるハイリスク薬の薬学的管理指導に関する業務ガイドラインに定義されている医薬品

(7) 医薬品や医療機器のリスク情報を十分に収集できていますか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

「2. いいえ」と答えた方は、以下の(8)の質問にお答えください。

(8) なぜ、医薬品や医療機器のリスク情報を十分に収集できていないのですか。

(複数回答可)

1. 情報提供手段が悪い
2. 不十分な情報が多い (信頼できる情報源が少ない)
3. インフラの整備不足 (インターネット使用環境など含む)
4. 情報収集時間がない
5. 十分な情報の収集手段が分からない
6. 情報収集に対しての予算不足 (会社等からの予算提供がない)
7. リスク対策に対する対価が少ない (対価がない)
8. その他 ()

Ⅲ. リスク・ベネフィットのコミュニケーション

1. 医薬品の情報が欲しい場合、情報源としてよく利用する、もしくは利用したいと思うものについてお伺いします。その情報源として希望される職種、項目について次の中からお選びください。

(複数回答可)

1. 医師
2. 薬剤師 (同僚の薬剤師含む)
3. 看護師・保健師 (臨床検査技師等、他の医療職含む)
4. 製薬会社の問い合わせ窓口 (MR を含む)
5. 患者用の添付文書
6. 書籍、雑誌、リーフレット
7. メディア (専門家向け含む)
8. インターネット
9. 公的機関の情報 (メーリングリスト含む)
10. 医薬品問題に関するアラート (メーリングリスト含む)
11. 文献
12. その他 ()

2. リスク・ベネフィット情報の信頼性において信頼できる情報源はどのような職種、項目ですか。

(複数回答可)

1. 医師
2. 薬剤師 (同僚の薬剤師含む)
3. 看護師・保健師 (臨床検査技師等、他の医療職含む)
4. 製薬会社の問い合わせ窓口 (MR を含む)
5. 患者用の添付文書
6. 書籍、雑誌、リーフレット
7. メディア (専門家向け含む)
8. インターネット
9. 公的機関の情報 (メーリングリスト含む)
10. 公的機関以外の医薬品問題に関するアラート (メーリングリスト含む)
11. 文献
12. その他 ()

3. 上記でお答えいただいた情報源より処方された薬剤やハイリスク薬などについてベネフィット (主作用や二次作用) に関する情報の交換 (提供) を今よりさらに受けたいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ (理由:)
3. わからない

4. 上記でお答えいただいた情報源より処方された薬剤やハイリスク薬などについてリスク (副作用) に関する情報の交換 (提供) を今よりさらに受けたいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ (理由:)
3. わからない

5. 副作用を有する薬剤について、医療関係者 (医師や薬剤師など) と情報の交換をしていますか。

1. はい
2. いいえ (理由:)
3. わからない

「1. はい」と答えた方は、以下の(1)の質問にお答えください。

(1) それは、主に何についての情報の交換ですか。

1. ベネフィット (主作用や二次作用) 情報
2. リスク (副作用) 情報
3. その他 ()

IV. 処方された薬剤についてお伺いします

(1) 医師が処方した薬剤について、その医師に疑義照会をすること (質問すること) がありますか。

1. はい
2. いいえ